

「したいこと」を「仕事の場で」やってみよう！～何かしたい？何がしたい？

	第1・2・3回			第4回	
時期	11月(11/6 月)	12月(12/21 木)	1月(1/19 金)	2月(2/23 金)	平成30年度
各回内容	この研修部会、なにを、なぜ、なんのために、どういう方法・内容でやるの？ → 自分がやりたいこと、自分たちがやりたいこと、その「コア」は？ → 具体的に、なにを、なんのために・だれのために、どうやって、やる？			経営者会議でプレゼン → 事業計画に盛り込む + ふりかえり	「やりたいこと」を実際に実施
キーテーマと	◎「自分たちがしたいことは何か？」を他者と(チームで)探っていく → ①対話と協働の体験 → 違いを前提にしたつながり(仲間) ◎外部施設の実践を実地で見て、聞いて、外部の人とワークを行う → ②「外」とのかかわり、「外」からの視点 ◎「自分たちがしたいこと」の具体的な企画、提案、実施、を目指す → ③わかりやすいかたちでの、現場への還元 ○「自分たちがしたいこと」を「仕事の場で」どうやったら具体的なかたち(=実践)にできるか。その試行錯誤の体験。 → ④「『自分』発」で仕事をとらえる(つくる)力 (「仕事=わりあてられるもの」という捉え方からの脱却)				内容 指導職員研修部会の外の人を巻き込んでの対話と協働の場 対象 ・どんな人でもOK。利用者、家族、職員、地域の方、そのMIX、など。 時間(仮) ・1時間～2時間 形式(仮) ・チームを二つに分け、Aチームが午前、Bチームが午後実施。 ・実施+観察+ふりかえり。それを足立と多摩と、計2回行う。 →学びのらせん構造ねらい ・現場への還元 ・研修部会後も参加者=コアメンバー同士のつながり(ネットワーク)を保つ。
留意点	☆人材育成プロジェクトの大きなテーマ=「対話と協働の土壌づくり」。指導職員研修部会もその一環。 ☆「自分たちがしたいこと」を探り、かたちにし、実施する、という研修部会内容は、あくまでも道具立て。それを通して「対話と協働」の本気体験をするのが、何よりも第一の目的。(※「無難に実施できそうなこと」探しになってしまったら、つまらない) ☆外部施設の実践に触れる → 「自分たちがしたいことは何か」や「それをどう具体化するか」を探る際の刺激やヒントになる ★課題①「広報」 → 各回参加者持ち回りで、所定書式に沿って広報紙「人プロYWT(仮)」を作成する 内部 …… 目的 ①対話と協働の体験・経験報告(楽しさ、重要性、など) ②「対話と協働の土壌づくり」の進展 ③人プロの認知度向上 方法 i 参加者が、毎回、自分のふりかえりを自施設で報告 ii 広報紙「人プロYWT(仮)」を各施設内に掲示・配布 外部 …… 目的 ①足立邦栄会の取り組みを情報発信 ②「外」とのかかわり、「外」からの視点が進む(増える) 方法 i 広報紙「人プロYWT(仮)」をホームページにアップ ☆経営者会議への報告 …… 経営者会議にて、広報紙および写真データ(例:スライドショー)をつかって、毎回報告 ★課題② 参加者=コアメンバー(中核者)同士のつながりが、「対話と協働の土壌づくり」の進展の鍵。				
ワーク	「自分」に還る	コアをつかむ (TalkTreeWORKSHOP)	具体的な計画	プレゼン+ふりかえり	
場所	男女共同参画センター横浜様	カブカブひかりが丘様(AM) 地域ケアプラザ様(PM)	足立区NPO活動支援センター様	みずき	
主体	主体=研修部会の運営側				主体=研修部会の参加者